

田原市道路整備プログラム 《概要版》

1. 道路整備プログラム策定にあたって

○ 道路整備プログラムとは

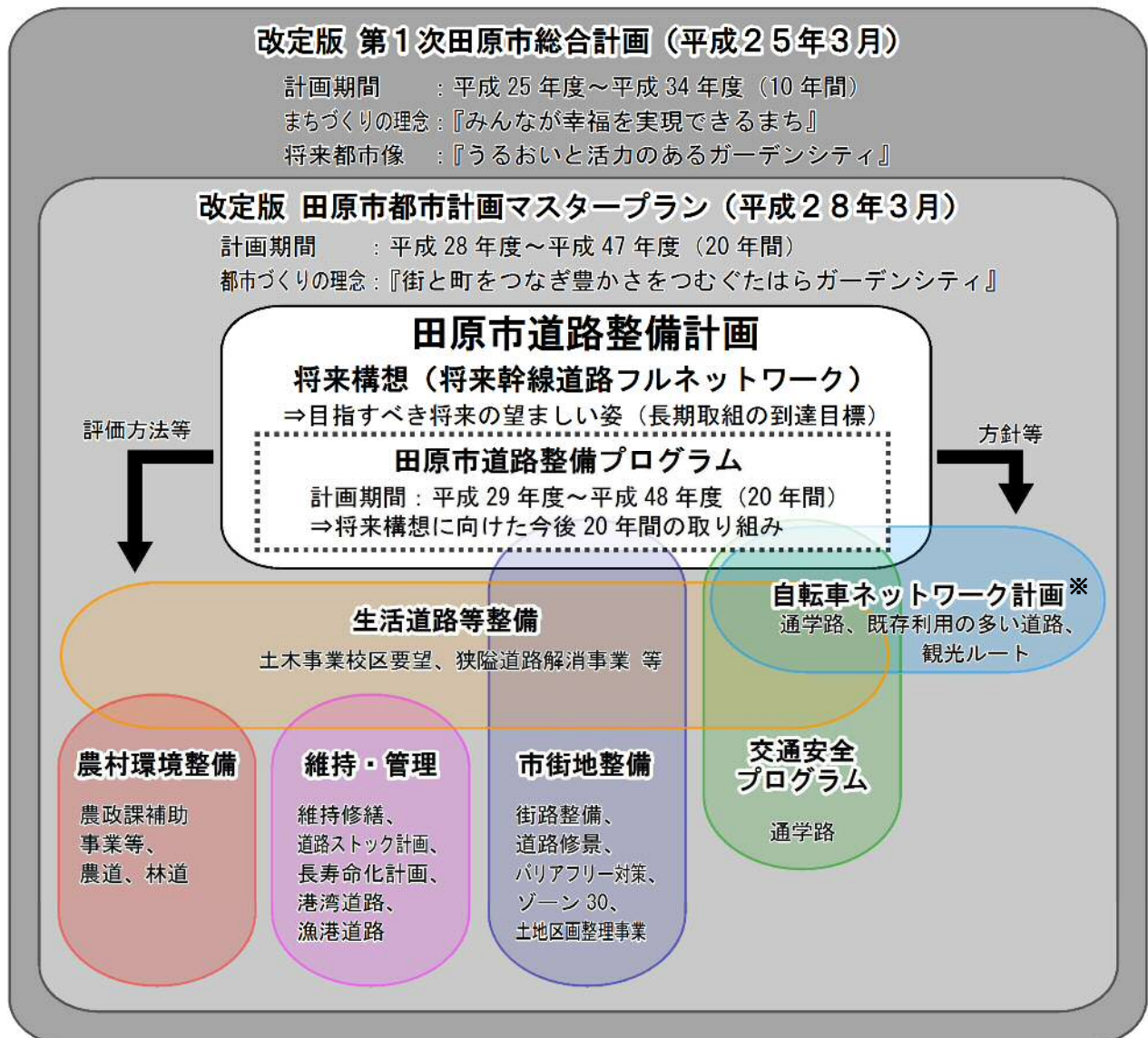
道路整備を計画的かつ効率的に進めていくために、上位計画等との整合を図りながら、路線ごとの整備の有効性や事業性について客観的に評価し、整備の優先順位と今後 20 年間の整備時期の目標を示すものです。

○ 道路整備プログラムの目的

田原市の将来都市像である「うるおいと活力のあるガーデンシティ」を実現するためには、都市の骨格となる“道路”を計画的に整備していくことが必要となります。

一方で、本格的な人口減少や少子高齢化社会の到来、巨大災害の切迫、インフラの老朽化など本市を取り巻く社会情勢は目まぐるしく変化しており、それらの危機的な状況に適應する都市構造を再構築するためにも、効率的かつ効果的な道路整備が求められています。

そこで、田原市道路整備プログラムでは、長期取組の到達目標として、田原市が目指すべき将来の望ましい姿を示すとともに、その将来像の実現に向けて今後 20 年間で整備すべき路線や優先順位について明確にすることを目的とします。



※平成29年度以降に計画策定を検討

▲ 田原市道路整備プログラムの位置付け

2. 田原市の道路・交通の現状

○ 道路網

道路網としては、太平洋岸の国道42号、三河湾沿いの国道259号が市域の骨格軸として形成されています。両者間の南北方向は県道、幹線市道で連絡されています。



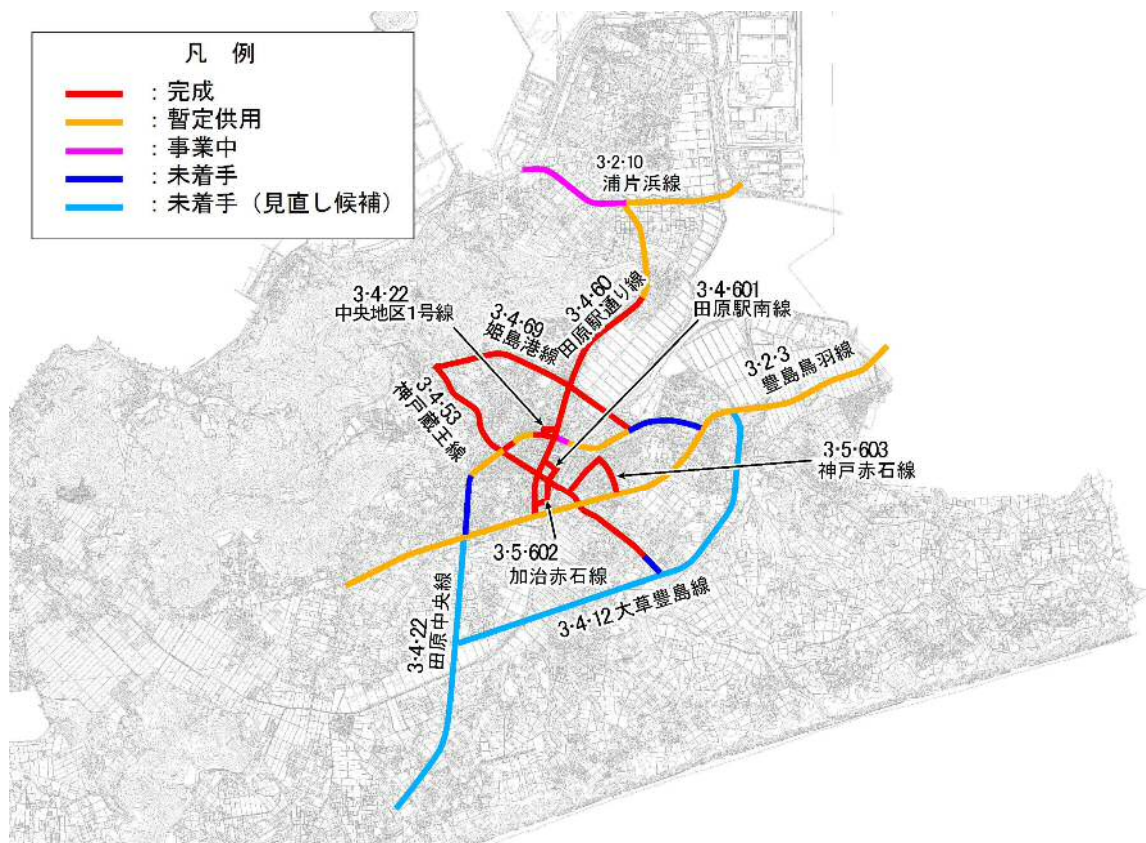
▲ 田原市の現況幹線道路網

○ 都市計画道路

本市の都市計画道路は、11路線、総延長33,090mが都市計画決定されています。

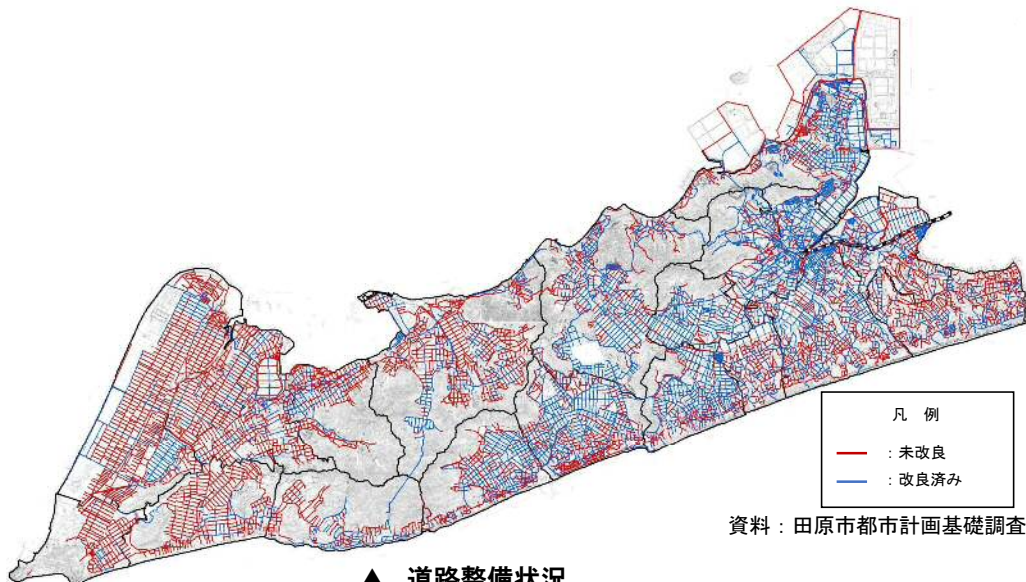
整備状況としては、改良済延長は20,070m、改良率は60.7%（平成27年3月末現在）となっており、未着手区間は主に市街化調整区域で多くなっています。

未着手の路線のうち2路線は見直しの候補路線となることが見込まれています。



○ 道路整備状況

本市の市道の整備状況として、田原市街地では比較的整備がされているものの、福江市街地では幅員4m未満の道路が約37%、赤羽根市街地は約59%であり、市街地内に狭あい道路が多く存在しています。また、福江市街地の幹線道路において、歩道が設置されていない区間が多く存在しています。



○ 道路交通の現況

田原市の道路交通の状況として、国道259号や国道42号、(主)豊橋渥美線など東西方向の路線の交通量が多く、10,000台/日以上交通量となっています。

特に、国道259号の田原市街地周辺では約14,000~20,000台/日、(主)豊橋渥美線の臨海工業地周辺では約30,000台/日の交通量があり、愛知県道路交通渋滞対策推進協議会による「地域の主要渋滞箇所」となっています。



3. 田原市の道路整備計画

○ 道路整備の課題と今後の方向性

田原市の現状や道路整備状況、上位・関連計画や市民ニーズを踏まえ、田原市の目指す将来構想の実現に向けた道路整備の課題と今後の方向性について以下の10項目で整理しました。

本道路整備プログラムでは、この課題と今後の方向性を踏まえた評価を行います。

① 安全性を向上させる道路環境整備の推進

「道路の安全性」に関する市民の満足度が低いことから、自動車及び歩行者の安心・安全な交通環境を確保することが必要です。

今後は、集落内や市街地内の生活道路も含めて、歩道の整備や道路の拡幅、交差点改良など、安全性の向上につながる整備を計画的に進めることが重要です。

② 防災面を重視した道路ネットワークの充実

南海トラフにおける海溝型地震の被害が想定される一方で、「道路の防災性」に関する市民の満足度の低さが目立ちます。

今後は、災害発生時の避難や輸送ルート等の確保を含め、緊急時を想定した信頼性の高いネットワークを形成するための道路整備が必要となります。

③ 第3次医療施設60分圏域の拡大

本市は三方を海に囲まれた半島であり、その市域の多くが第三次医療施設である「豊橋市民病院」へ60分で到達するのが困難な地域となっています。

今後は、迅速な救急医療を支える「命の道」となる三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）や渥美半島縦貫道路等の整備により高速連携ネットワークを確立していくことが重要になります。

④ 市内地区間・校区間を結ぶ道路ネットワークの強化

合併により市街地が点在する本市において、市内の地区間・校区間を円滑・迅速に行き来できる定時性・利便性の高い道路網の充実が必要です。

今後は、東西の主軸となる2本の国道とそれらを結ぶ南北方向の県道や市道等の機能を強化させ、有機的で代替性あるネットワーク形成を進めることが必要になります。

⑤ 広域高速ネットワークへの接続性を高める高規格の道路網整備

半島という特殊な地勢から、広域的な高速道路ネットワークへのアクセス性を高めることで、市域の隅々までその恩恵を及ぼすようにすることが必要です。

そのため、東名、新東名、三遠南信自動車道等に連なる高機能な幹線道路（伊勢湾口道路、渥美半島縦貫道路等）の整備推進が必要になります。

⑥ 産業活力の維持発展を支援できる道路網の充実

県内有数の工業力、豊かな食資源を提供する農水産業など、地域の経済的基盤となる産業の振興に寄与する道路の整備、充実が必要です。

今後は、生産工場と高速道路網を結ぶ道路や、農水産物の迅速な輸送に役立つ道路、観光産業を支える道路などを計画的に整備していくことが必要となります。

4. 道路整備プログラムの策定

○ 基本方針

市の将来都市像の実現に向け道路整備の課題解消を進めていく上で、以下の 3 つを道路整備の基本方針に決めました。道路整備プログラムでは、3 つの基本方針を踏まえた評価、優先順位の検討を行います。

市の将来都市像

『うるおいと活力のあるガーデンシティ』

道路整備の課題

- ① 安全性を向上させる道路環境整備の推進
- ② 防災面を重視した道路ネットワークの充実
- ③ 第 3 次医療施設 60 分圏域の拡大
- ④ 市内地区間・校区間を結ぶ道路ネットワークの強化
- ⑤ 広域高速ネットワークへの接続性を高める高規格の道路網整備
- ⑥ 産業活力の維持発展を支援できる道路網の充実
- ⑦ コンパクトシティ形成に資する都市計画道路網の整備
- ⑧ 公共交通網の確保・充実とその走行環境の向上
- ⑨ 快適性のある道路環境・景観づくり
- ⑩ 現況の問題点や市民ニーズに対応した効率的・効果的な道路整備

基本方針①

渥美半島を次世代に繋げるみちづくり

基本方針②

渥美半島で安心して暮らせるみちづくり

基本方針③

渥美半島から元気を創出するみちづくり

▲ 道路整備プログラムの基本方針

○ 道路整備プログラムの評価対象道路網

田原市の管理する主要な幹線市道のうち、「現在の道路幅員が必要最低限の幅員を満たしていない路線」や「歩道未設置など通学路安全対策路線に指定されている路線」など、既存の道路構造が不十分で今後整備を必要とする路線を抽出します。

さらに、それらの路線に、未整備の都市計画道路や都市計画道路の構想路線を加えた 65 路線を対象に評価、優先度の検討を行います。

最終的に、検討した優先度と田原市の道路整備に要する費用の実績から、今後 20 年間で整備に取り組む路線を抽出します。

抽出番号	路線名	道路種別	道路区分	現況 最小幅員 (m)	事業区間 延長 (m)	事業内容					
						新設	道路幅員	歩道設置	橋梁架替	橋梁幅員	交差点 改良
1	谷籠中央線	1級市道	3種4級	5.50	521		○				
2	百々海岸線	1級市道	3種5級	4.00	465		○				
3	東ヶ谷豊島線	1級市道	3種4級	4.00	2,458		○	○			
4	(都) 神戸蔵王線+延伸※	都市計画道路	3種2級	-	1,980	○					
5	萱町吉胡線	1級市道	4種3級	7.30	331		○	○			
6	衣笠藤七原線	1級市道	3種3級	5.70	197		○	○			
7	谷ノ口海岸線	1級市道	3種5級	4.00	180		○				
8	南町漆田線	1級市道	3種3級	6.10	73		○				
9	志田加治線	1級市道	3種3級	6.00	1,708		○				
10	大草海岸線	1級市道	3種5級	3.90	669		○				
11	田原中央線	1級市道	3種5級	3.00	447		○				
12	大草大久保線	1級市道	3種5級	4.60	1,370		○				
13	雲明仁崎線	1級市道	3種3級	6.80	475		○	○			
14	彦田山ノ神線	1級市道	3種5級	4.50	1,039		○				
15	赤東赤中線	1級市道	3種3級	6.90	1,371		○				
16	保美西山線	1級市道	3種5級	4.00	694		○				
17	保美中山線	1級市道	3種5級	4.40	619		○		○		
18	山田古田線	1級市道	3種5級	3.60	791		○		○		
19	小塩津保美線	1級市道	3種4級	7.90	1,818		○	○	○		○
20	長山敷原前線	2級市道	3種5級	3.90	3,596		○	○			
21	若戸前田線	2級市道	3種5級	4.70	296		○				
22	貝場百々線	2級市道	3種5級	4.00	1,273		○				
23	百々太神線	2級市道	3種5級	3.60	1,182		○			○	
24	寺東中新造線	2級市道	3種5級	3.00	807		○				
25	下畑波瀬北線	2級市道	3種3級	6.00	1,903		○	○			
26	川西天白線	2級市道	3種5級	4.40	42		○				
27	赤石恩中線	2級市道	3種5級	4.50	31		○				
28	清谷椿線	2級市道	4種4級	3.90	260		○				
29	上八軒家井戸沢線	2級市道	3種4級	5.00	932		○	○		○	
30	南町豊南線	2級市道	3種5級	3.00	995		○				
31	仲大辻線	2級市道	3種5級	4.50	141		○				
32	志田糖塚線	2級市道	3種4級	4.00	1,597		○			○	
33	東前黒河線	2級市道	3種5級	3.00	1,318		○			○	
34	東滝頭ホウヘ線	2級市道	3種5級	3.50	772		○			○	
35	黒河西屋敷線	2級市道	3種4級	3.50	872		○				
36	馬草黒ヶ谷線	2級市道	3種5級	3.00	2,119		○		○		

抽出番号	路線名	道路種別	道路区分	現況 最小幅員 (m)	事業区間 延長 (m)	事業内容					
						新設	道路幅員	歩道設置	橋梁架替	橋梁幅員	交差点 改良
37	仲瀬古坂下線	2級市道	3種5級	4.50	522		○				
38	二又椎沢線	2級市道	3種2級	7.00	1,744		○				
39	上り世古弥次郎線	2級市道	3種5級	4.00	28		○				
40	権壺地猿田線	2級市道	3種5級	3.10	1,581		○				
41	坂南新前田線	2級市道	3種5級	3.80	1,237		○				
42	中原寺田線	2級市道	3種5級	4.30	257		○				
43	原ノ島平城線	2級市道	4種3級	3.10	750		○	○		○	
44	沖田大岩下線	2級市道	3種5級	3.00	1,696		○				
45	宮下沢線	2級市道	3種4級	6.30	394		○	○			
46	八反坪小新田線	2級市道	3種5級	3.00	1,483		○				
47	道上1号線	2級市道	3種5級	4.00	87		○				
48	穂波日ノ出線	2級市道	3種5級	-	139						
49	碓木下南線	2級市道	3種4級	4.00	335		○	○		○	
50	段土中原1号線	2級市道	3種4級	4.60	411		○	○			
51	西今田西畑線	2級市道	3種5級	4.70	306		○				
52	馬道下宮ノ前線	2級市道	3種4級	4.00	399		○	○			



凡例

- : 1級市道
- : 2級市道
- : 2級市道への昇格候補路線
- : 都市計画道路等
- : 整備区間 (不適合箇所)
- 数字 : 抽出番号

※No. 4 (都) 神戸蔵王線+延伸、No. 63、No. 64 の (都) 田原中央線は、県決定の都市計画道路ですが、他の都市計画道路等との比較のため、市道と並べて評価、優先度検討を行います。

抽出番号	路線名	道路種別	道路区分	現況 最小幅員 (m)	事業区間 延長 (m)	事業内容					
						新設	道路幅員	歩道設置	橋梁架替	橋梁幅員	交差点 改良
53	植松松葉田線	2級市道	3種5級	4.00	1,391		○				
54	左々組西原線	2級市道	3種5級	2.50	1,428		○		○		
55	植松南線	2級市道	3種5級	3.00	1,232		○				
56	除地和名池線	2級市道	3種5級	4.50	1,192		○				
57	西瀬古新堀東線	2級市道	3種5級	4.30	109		○				
58	東太田宮東線	2級市道	3種4級	3.50	1,115		○				
59	波治神寺口線	2級市道	3種5級	4.20	223		○				○
60	中瀬古渡川線	2級市道	3種5級	3.80	187		○				
61	前田寺ノ前3号線	2級市道	3種5級	3.00	595		○			○	
62	(仮) 田原駅前通り線 延伸	計画	-	-	3,110	○					
63	(都) 田原中央線1※	都市計画道路	-	-	840	○					
64	(都) 田原中央線2※	都市計画道路	-	-	680	○					
65	(仮) 大草白谷線	計画	-	-	3,980	○					

▲ 道路整備プログラムの評価対象路線

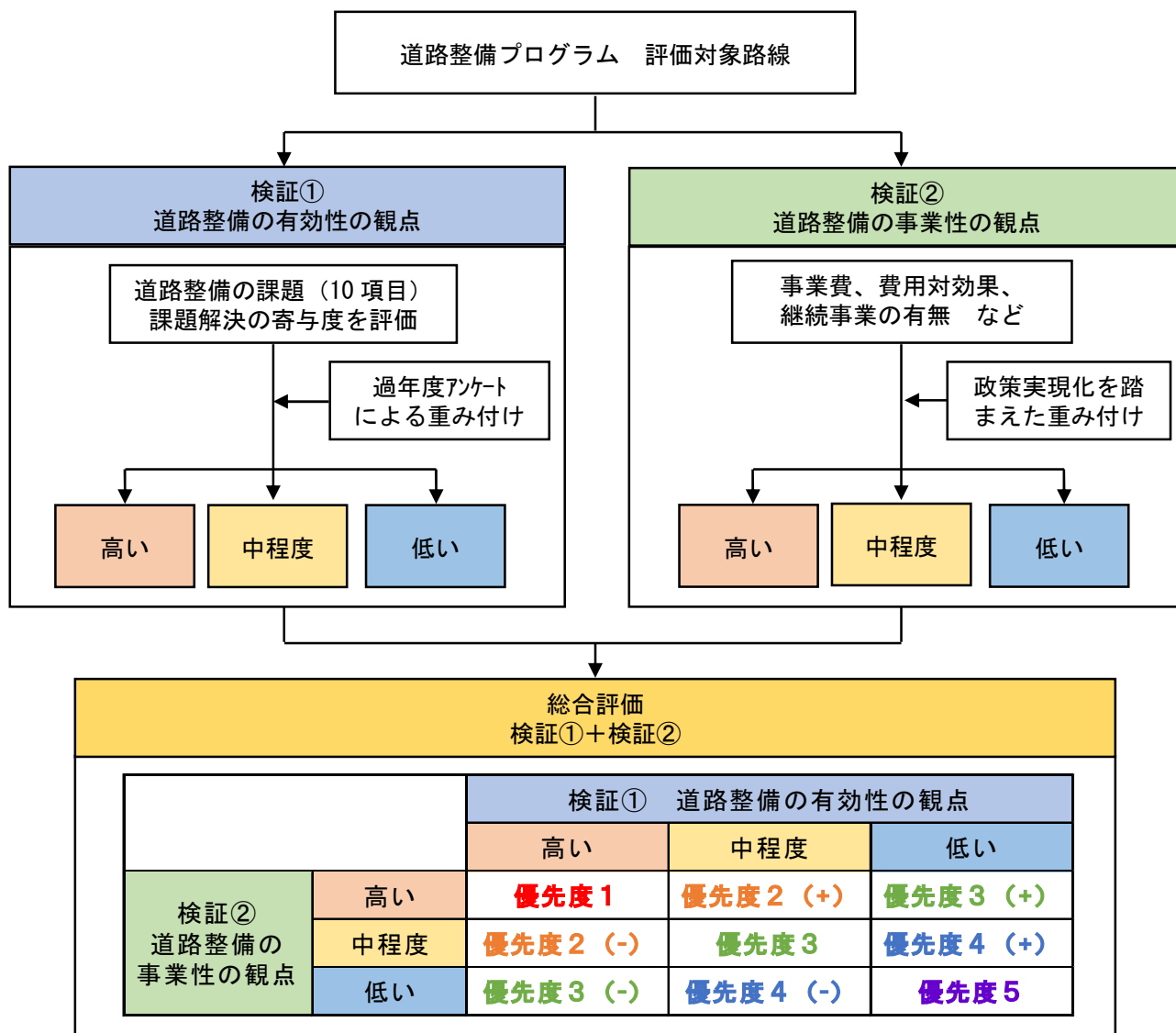
○ 整備優先度の検討手法

対象路線ごとに、検証①〔道路整備の有効性の観点〕と検証②〔道路整備の事業性の観点〕の2つの視点から評価を行い、それらの評価結果を組み合わせた総合評価によって整備優先度の検討を行います。

検証①では、道路整備の有効性の観点から、前述した「道路整備の課題（10項目）」に対する課題解決の寄与度について評価を行います。なお、各項目で重要性が異なることが想定されるため、過年度実施のアンケート結果を用いた重み付けを行います。

一方、検証②では、道路整備の事業性の観点から、事業費や費用対効果など事業を円滑に進める上で重要な項目により評価を行います。検証②においても、各項目の重要度を踏まえ、政策実現化を考慮した重み付けを行います。

総合評価として、検証①と検証②の評価結果を組み合わせて、対象路線の優先度の検討を行います。なお、総合評価において、同じ“優先度”であっても、事業性が高くなければ事業そのものが実施できないため、検証②を重視した評価とします。



▲ 整備優先度の検討フロー

○ 検証①：道路整備の「有効性」の観点からの検証

検証①では、「道路整備の課題（10項目）」に対する課題解決の寄与度について、下表の基準を用いた評価を行います。なお、各項目で重要性が異なることが想定されるため、「道路整備に関する市民意識調査（アンケート）」における「今後の道路整備の重要度」から重み付け係数を設定します。

重み付けを考慮した各路線の評価を、点数に応じて、「高（3点以上）」、「中（2～3点未満）」、「低（2点未満）」の3段階にランク分けを行います。

評価項目		判断基準	重み付け係数
①	安全性を向上させる道路環境整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> 歩道設置事業、歩道設置の可能性がある新設路線 歩道が未設置の「通学路（小学校・中学校）」指定路線 	1.43
②	防災面を重視した道路ネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> 「市の緊急輸送道路」に指定されている路線 新設道路で「市の緊急輸送道路」となる可能性がある路線 「津波」、「液状化」の「迂回路候補」となる路線 	1.30
③	第3次医療施設60分圏域の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 「東西方向」の高規格幹線道路（市道は該当なし） 	1.33
④	市内地区間・校区間を結ぶ道路ネットワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> 都市マスの「広域連携軸」、「都市間連携軸」、「市街地間連携軸」、「地域幹線道路」に指定されている路線 上記の各種連携軸へのアクセス性向上に寄与する路線 	0.52
⑤	広域高速ネットワークへの接続性を高める高規格の道路網整備	<ul style="list-style-type: none"> 「渥美半島縦貫道路」及び「渥美半島縦貫道路のIC」へのアクセス性向上に寄与する路線（田原市を南北方向に結ぶ路線） 	0.80
⑥	産業活力の維持発展を支援できる道路網の充実	<ul style="list-style-type: none"> 「工業」：田原臨海工業団地と国道259号を結ぶ路線 「農業」：都市計画基礎調査における「田」「畑」の密集したエリア内の路線 「観光」：田原市観光統計に記載の観光施設のへのアクセス道路及び周辺路線 	0.62
⑦	コンパクトシティ形成に資する都市計画道路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> 「都市計画道路」及び都市計画マスタープランにおける「都市計画道路の構想路線」 	0.69
⑧	公共交通網の確保 ・充実とその走行環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「バス路線」となっている路線 	0.59
⑨	快適性のある道路環境・景観づくり	<ul style="list-style-type: none"> 「街路樹」や「植樹帯」が設置されている路線 または、設置される可能性のある新設路線 	0.35
⑩	現況の問題点や市民ニーズに対応した効率的・効果的な道路整備	<ul style="list-style-type: none"> 校区意見交換会等で指摘のあった路線 	0.61

○ 検証②：道路整備の「事業性」の観点からの検証

検証②では、道路整備の「事業性」という観点から、道路整備事業を円滑に進めることに関連した評価項目を設定し、それにより各路線の評価を行います。各評価項目の判断基準は、下表の通りです。

また、検証②においても、検証①と同様に各評価項目の重み付けを行います。

検証②における評価項目のうち、市施策を実現する上で特に重要な項目については、検証①で最も高い重み付け係数である「①安全性を向上させる道路環境整備の推進：1.43」を踏まえ、「1.50」を設定しました。

市施策を実現する上で特に重要な項目は、③継続事業（現在優先的に取り組んでいる事業の早期完了を図るため）、⑥上位計画における位置付け（市施策実現に向けた計画的な整備を要するため）の2項目としました。

その他、①事業費、②費用対効果、④交通安全プログラム対策、⑤校区要望の有無については、上記の重要項目に順ずるものとして、重み付け係数「1.00」としました。

評価項目		評価内容	判断基準	重み付け係数
①	事業費	より多くの事業を早期に実現し、都市の骨格を形成するため、事業費の低い路線を抽出します。	事業費が2億円以内の路線	1.00
②	費用対効果 (事業の効率性)	道路整備に要する財源が限られる中で、効率的な道路整備の促進を図るため、事業費に見合った整備効果を生み出す事業を抽出します。	費用便益比(B/C)が1.0を超える路線	1.00
③	継続事業 (事業の継続性)	現在、着手している事業であれば、未着手の事業と比べて、早期完了が可能なことから、継続事業である路線を抽出します。	継続事業である路線	1.50
④	交通安全プログラム対策	通学路の交通安全対策は喫緊の課題であり、田原市通学路交通安全プログラム対策において、危険指摘箇所等の対策が計画されているため、それらの路線については高評価とする。	交通安全プログラム対策に位置づけられる路線	1.00
⑤	校区要望の有無	道路利用者の中でも最も利用頻度の高い地元住民から要望の多い路線を抽出します。	校区要望に挙がっている路線	1.00
⑥	上位計画 ・主要施策	上位計画において主要施策になっている事業は、市施策を実現に向けた計画的な整備を要するため、それらの路線を抽出します。	上位計画における主要施策に位置づけられる路線	1.50

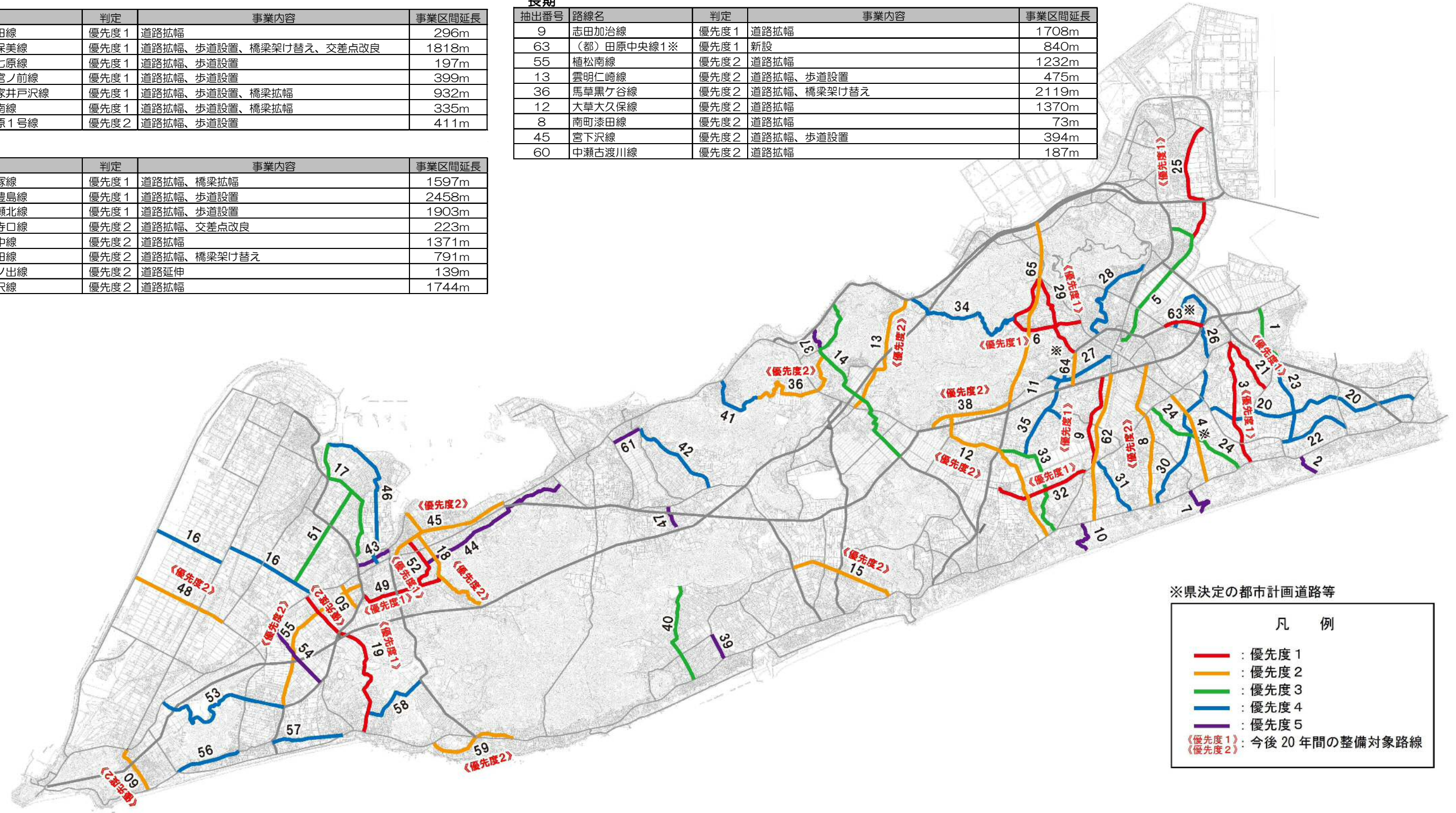
○ 道路整備プログラム

道路整備プログラムとして、今後 20 年間で優先的に整備する路線について、事業の内容等により整備時期を“短期（概ね 5 年間）”、“中期（概ね 10 年間）”、“長期（概ね 20 年間）”の 3 つに分類しました。

短期				
抽出番号	路線名	判定	事業内容	事業区間延長
21	若戸前田線	優先度 1	道路拡幅	296m
19	小塩津保美線	優先度 1	道路拡幅、歩道設置、橋梁架け替え、交差点改良	1818m
6	衣笠藤七原線	優先度 1	道路拡幅、歩道設置	197m
52	馬道下宮ノ前線	優先度 1	道路拡幅、歩道設置	399m
29	上八軒家井戸沢線	優先度 1	道路拡幅、歩道設置、橋梁拡幅	932m
49	梵木下南線	優先度 1	道路拡幅、歩道設置、橋梁拡幅	335m
50	段土中原 1 号線	優先度 2	道路拡幅、歩道設置	411m

中期				
抽出番号	路線名	判定	事業内容	事業区間延長
32	志田糖塚線	優先度 1	道路拡幅、橋梁拡幅	1597m
3	東ヶ谷豊島線	優先度 1	道路拡幅、歩道設置	2458m
25	下畑波瀬北線	優先度 1	道路拡幅、歩道設置	1903m
59	波治神寺口線	優先度 2	道路拡幅、交差点改良	223m
15	赤東赤中線	優先度 2	道路拡幅	1371m
18	山田古田線	優先度 2	道路拡幅、橋梁架け替え	791m
48	穂波日ノ出線	優先度 2	道路延伸	139m
38	二又権沢線	優先度 2	道路拡幅	1744m

長期				
抽出番号	路線名	判定	事業内容	事業区間延長
9	志田加治線	優先度 1	道路拡幅	1708m
63	〈都〉田原中央線 1 ※	優先度 1	新設	840m
55	植松南線	優先度 2	道路拡幅	1232m
13	雲明仁崎線	優先度 2	道路拡幅、歩道設置	475m
36	馬草黒ヶ谷線	優先度 2	道路拡幅、橋梁架け替え	2119m
12	大草大久保線	優先度 2	道路拡幅	1370m
8	南町漆田線	優先度 2	道路拡幅	73m
45	宮下沢線	優先度 2	道路拡幅、歩道設置	394m
60	中瀬古渡川線	優先度 2	道路拡幅	187m

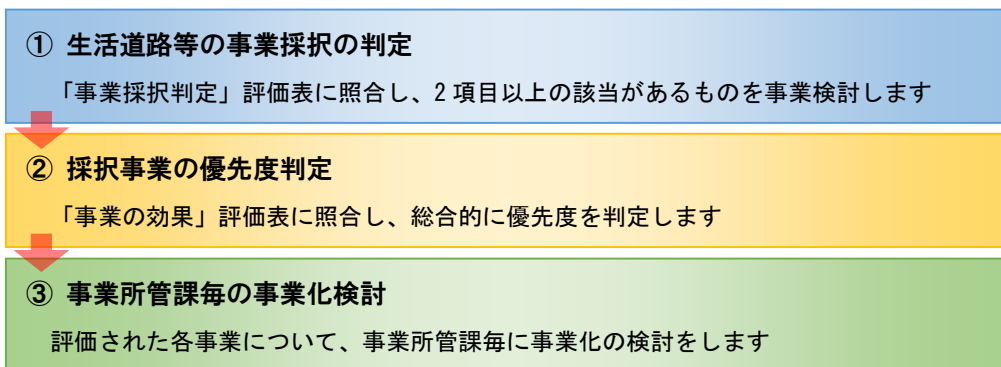


▲ 評価対象路線の総合評価結果

○生活道路等の整備の取組

現況の問題点や市民ニーズに対応した効率的・効果的な道路整備を進めていく上では、幹線道路網以外の生活道路等についても、客観的な評価指標により優先順位の検討を行い、整備していくことが重要です。

生活道路等については、次のような評価により事業採択の検討及び優先順位評価を行い、市民要望に応えていきます。



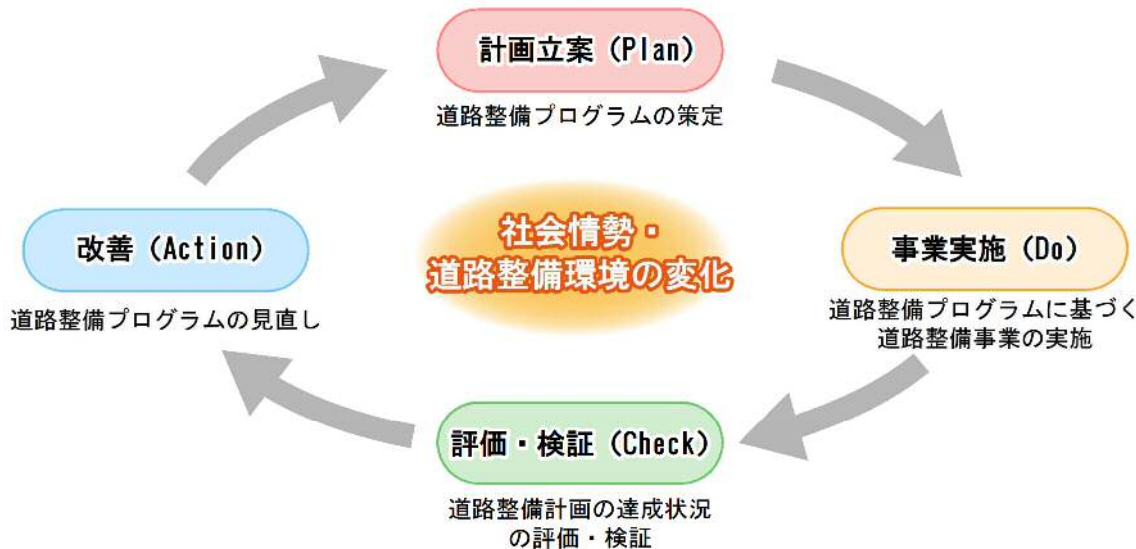
▲ 生活道路等の評価方法

○道路整備プログラムの検証と改定

今後の20年間において効率的かつ効果的な道路整備を進めていくためには、道路整備事業の進捗を適切に管理するとともに、それらの社会情勢の変化による影響を的確に捉えることが重要です。

そのため、本道路整備プログラムでは、社会情勢や道路整備環境の変化を把握した上で、計画立案(Plan)、事業実施(Do)、評価・検証(Check)、改善(Action)のPDCAサイクルにより、道路整備プログラムの評価方法や評価結果、道路整備計画の達成状況に不整合がないかなど検証を行い、必要に応じて道路整備プログラムの見直しを行っていきます。

道路整備プログラムの見直しは、計画期間の中間年度を基本とします。ただし、社会情勢の大きな変化が生じた場合は、その時点で検証を行います。



▲ 道路整備プログラムのPDCAサイクル

田原市道路整備プログラム《概要版》

平成29年3月

田原市

〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30番地1

TEL 0531-22-1111 FAX 0531-22-3811